

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 実用新案登録公報 (Y 2) (11) 実用新案登録番号

第2500001号

(45) 発行日 平成8年(1996)6月5日

(24) 登録日 平成8年(1996)2月21日

(51) Int.Cl. <sup>6</sup>	識別記号	片内整理番号	P I	技術表示箇所
E 0 4 G 3/10			E 0 4 G 3/10	A
			1/24	
			3/14	

請求項の数1(全 3 頁)

(21) 出願番号	実願平5-26590	(73) 実用新案権者	000001373 鹿島建設株式会社 東京都港区元赤坂1丁目2番7号
(22) 出願日	平成5年(1993)5月21日	(72) 考案者	白井 俊輔 東京都港区元赤坂一丁目2番7号 鹿島建設株式会社内
(65) 公開番号	実開平6-83843	(72) 考案者	松永 義憲 東京都港区元赤坂一丁目2番7号 鹿島建設株式会社内
(43) 公開日	平成6年(1994)12月2日	(72) 考案者	宮本 武三 東京都港区元赤坂一丁目2番7号 鹿島建設株式会社内
		(74) 代理人	弁理士 高橋 敏忠 (外1名)
		審査官	小山 清二
		(56) 参考文献	実開 昭61-185348 (J P, U) 特公 昭52-5175 (J P, B 2)

(54) 【考案の名称】 建築物壁面作業用装置

1

(57) 【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 建屋壁面の頂縁に沿って上部レールが付設され、その底部に沿って下部レールが付設され、それらの上部レールおよび下部レールにはそれぞれ上部台車および下部台車が走行装置により走行自在に設けられ、それらの上部台車および下部台車を連結するガイドレールが設けられ、ガイドレールには作業装置が昇降手段を介して昇降自在に設けられ、その作業装置の両側と上部レールおよび下部レールの両端との間に巻取装置を介して振れ止めワイヤが張設されていることを特徴とする建築物壁面作業用装置。

【考案の詳細な説明】

【0001】

2

は専用の装置等を取付け、連続的に又は任意の位置、範囲に固定して所定の作業を行うための建築物壁面作業用装置に関する。

【0002】

【従来の技術】 従来、建築物の壁面作業は、ゴンドラ式高所作業台等を用いて行っていた。従来のゴンドラ式高所作業台は、揺れがあって危険であり、また、作業範囲の横方向移動は、手間がかかって面倒であり、作業効率が悪い。

【0003】 また例えば実開昭61-185848号公報に記載されているゴンドラは横方向（壁面と平行な方向）に支持体がなく横方向移動時に揺動して危険である。さらに特公昭52-5175号公報に記載された作